

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 はくちよう 組	10 月 20 日 (月)	鈴木

● 実施計画

活動テーマ		
英語×行事【ハロウィン】を体験し、探究する		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
教材のハロウィンの内容は、3回目で歌や絵本に出てくるフレーズを自分でも言っていて楽しんでいた。週末に家庭でもハロウィンのイベントに行っていたり、ハロウィンを身近に感じている。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
9:50	【英語活動】パパッと英語 ハロウィンの単語、歌、絵本を楽しむ	スクリーンを使う。(パパッと英語タブレットを使用)
10:10	【探究活動】 4つの表情のジャコランタンのイラストを用いて、「Happy」「Sad」「Angry」「Sleepy」を紹介し、クイズをする。 自分たちでもクレヨンでかぼちゃに表情を描き、みんなの前で「I'm ○○(happyなど).」と描いたものと一緒に発表する。 折り紙を使って、ハロウィンのキャンディ作りをする。 →次回、色の活動と「Trick or Treat.」とやりとりする活動につなげる。	表情のイラストカードを準備する。 3つのグループに分かれ、机を準備する。 かぼちゃが描いてある画用紙、クレヨンを用意する。 グループごとに前にでて発表する。 見本を作っておき、折り紙の色は自分で選びキャンディを作る。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・パパッと英語の教材を通して、リズムや歌のことで英語を口ずさみ、自然に英語に触れることができていた。 ・ハロウィンというイベントが子どもたちの中でわくわくするイベントで、季節ならではの内容を楽しんでいる。 ・聞くだけでなく、自分でも英語を言ってみる機会を作り、話せてうれしいという気持ちを味わっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔も多く、動きやフレーズを楽しそうに真似ていた。色など知っている英単語を積極的に話していた。 ・家庭で体験したハロウィンのことを話したり、活動中に子ども自身が取り入れていた。こうした、こういうお菓子を作りたいといった子どもからのリクエストも多かった。 ・みんなの前で発表することがうれしい様子や恥ずかしそうな様子があった。友だちから拍手されると安心した表情をみせていた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
3週目に探究を取り入れたことで、前回までの英語教材の内容を子ども達も覚えており、繋がりのある活動となっていてよかった。 前に出て英語を言ってみようとなると、間違えたくないという気持ちがでてくる子もあり、正しく言おうと事前に何度も確認している様子もあった。英語は難しいという気持ちにならず、間違えても大丈夫だということを伝えながら、話せてうれしいという体験を積み重ねたい。	歌などのメロディーを覚えてきているためリズムに合わせて発声することが出来ていた。音楽に合わせてだとも大きく出せる様子でリラックスしながら楽しんでいた。ハロウィンと時期が重なっていたため意外と知っている単語も多く興味を持って取り組んでいたように感じた。